夢　愛　自立

豊野小・中学校だより
第８号（令和３年７月５日）
豊野小・中学校
ホームページ

小学校　男子９２人 女子８２人 計１７４人　中学校　男子４７人 女子４０人 計８７人

相手の気持ち考えた言葉を

　令和３年６月２６日の熊日新聞「読者ひろば（若者コーナー）」に本校小学６年生の伊藤由里菜さんが投稿した「相手の気持ち考えた言葉を」が掲載されましたので、ご紹介します。

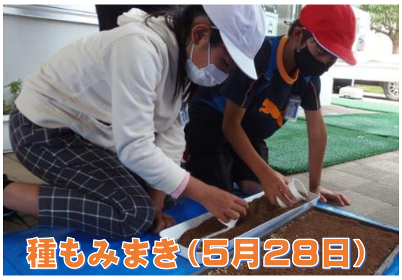
　私の通う豊野小学校で６月の「心のきずなをふかめる月間」に合わせて、全校集会がありました。集会では、校長先生からＬＩＮＥのやりとりの正しい言葉遣いについて、分かりやすく教えてもらいました。例えば、２人の女の子がＬＩＮＥをしていて、一人の子が家族に買ってもらった新しい服を写真付きで送りました。すると「やばくない」と返事が返ってきたので、怒ってしまいました。でも、返事を返した子は、「ほめたのに」と思っていたのです。こうした例を校長先生は話されました。

　この話を聞いて、私は、「やばくない」などをほめ言葉として使っても、相手がどう受け取るか分からない時があり、言葉の使い方に気をつけて発言することが大切だと思いました。また、普段から話すときもＬＩＮＥの時なども、友達が嫌な気持ちにならないように、相手の気持ちを考えて、やり取りをしたいと思いました。普段の学校生活でも、みんなが楽しく過ごせるよう相手の気持ちを考えるようにしたら、いじめや差別が少しでもなくなるのかな、と思いました。

　最後に校長先生は、友達と仲良くなるための魔法の言葉を教えてくれました。その言葉は、「ありがとう」と「ごめんなさい」です。これからも、言葉の使い方に気をつけ、相手のことを思いやり、「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に言えるようにしていきたいと思います。

　小学５年生が、５月28日（金）に「種もみまき」を行い、６月28日（火）に1か月間大切に育てた苗を植えました。毎朝、苗が育っているか確認していた５年生は、田植えの日を迎えてホッとしていました。
　山崎の稲葉さんご家族、JA豊野支部青壮年部、保護者の皆さん、ありがとうございました。

田植え（6月28日）



種もみまき（5月28日）